共通事項　（3年次編入学者対象）

建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する

3つのポリシー

愛知産業大学は「建学の精神」に則り、育成すべき人材像を明確にし、資質・能力獲得のために適切なカリキュラム編成、体系的・組織的な教育活動、及びこれにふさわしい学生を受け入れるための入学者選抜の実施を目的に、3つのポリシーを策定しています。

アドミッション・ポリシー

愛知産業大学では、各種産業に関する知識と学術を授けるとともに、専門の技能・理論を学び、応用に発展させる力をつけ、人格の完成を図り英知と勤勉さを高め、産業及び文化の発展に貢献する人材を育成しています。そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができること、そして自分の分野の専門知識・技能を身につけ、産業・地域・生活の発展に貢献でき、夢の実現に意欲をもつことが求められます。したがって、文系や理系にとらわれず高等学校において幅広く学習し、コミュニケーション能力を備えていることを重視します。そのため入学試験では、文系・理系科目の基礎知識や能力を求めますが、知識を単に有することよりも、持っている知識を関連づけることや展開する能力を重視します。

●造形学部

造形学部では、産業・地域・生活における建築及びデザインという造形行為を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。

造形学部　建築学科

建築学科では豊かなインテリアから建築環境の創造と保全を通して、地域産業や生活に貢献できる人材を育成することです。そのために、デザイン・情報・建築の専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、社会や生活に常に関心を持ち、良いものや美しいものに敏感で、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般選抜・大学入学共通テスト利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。学校推薦型選抜・総合型選抜では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認めた人物に対して行い、職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、建築学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。

造形学部　スマートデザイン学科

スマートデザイン学科では、情報処理技術を活用し、未来の生活や社会を豊かにする商品やサービスを創成できるデジタル人材の育成を行います。そのために、単に情報ツールやアプリケーションを扱うだけではなく、機械学習、データ分析・評価、プログラミングなどの情報科学の知識や技術の習得に挑戦する強い意志を持ち、さらに、課題発見から試作までのデザインの手法を、意欲を持って学ぶことが求められます。一般選抜・大学入学共通テスト利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。学校推薦型選抜・総合型選抜では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有すると認められた人物に対し、小論文と面接でその能力を確認します。この場合、職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、スマートデザイン学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。

●経営学部

経営学部では、複雑化する現代社会に対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活に貢献するビジネスパーソンを育成します。そのために、専門知識を身につけた職業人を目指して、企業の設立や経営などの夢の実現に挑戦する意欲が求められます。

経営学部　総合経営学科

総合経営学科では、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献するビジネスパーソン、アスリート、生活者を育成します。そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができ、企業の設立や経営などの夢の実現に挑戦する意欲を持ち、将来的に商工業・地域・文化・スポーツなどの分野におけるマネジメントに従事することを目指すことが求められます。より具体的には、会社運営に関わるコスト意識を持ち、組織の効率的な運営方法や普段利用している商品の販売方法や店舗経営に興味を持っていることが求められます。したがって、小論文で関心度と目指す意欲を判断し、一般選抜・大学入学共通テスト利用入試では、高等学校での学習の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力をもっているかの判断をします。学校推薦型選抜・総合型選抜では、勉学態度と意欲の面からみて大学で学ぶ能力を有するかの判断をします。職業系の学科出身者に対しては専門の学習実績も考慮します。外国人志願者には、総合経営学科で学修できる日本語能力についての判断も行います。

各入試における評価

評価の観点と項目 / 入試区分	知識・技能 各学科・科目の学習記録 全体の評定平均値 学科試験の得点 大学入学共通テストの得点 資格取得状況	思考力・判断力・表現力等 資格取得状況 面接試験の得点 小論文の得点 特別活動の記録 指導上参考となる諸事項 課外活動	行動力・協調性 特別活動の記録 指導上参考となる諸事項 課外活動 ボランティア活動 生徒会活動
学校推薦型選抜[指定校]	◎	◎	◎
学校推薦型選抜・公募[一般]	○	○	◎
学校推薦型選抜・公募[専門・総合学科]	○	◎	○
総合型選抜	○	◎	◎

共通事項　（3年次編入学者対象）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

愛知産業大学では、幅広い知識・教養を身につけ、豊かな感性を持ち、論理的に物事を考え、他者とのコミュニケーションができ、なおかつ専門的知識を身につけて、産業・地域・生活の発展に貢献できる就業力を持った者に対して学士を授与します。

●造形学部

造形学部では、産業・地域・生活における諸問題に関心を持ち、そこにあるさまざまな問題を発見し、建築及びデザインの実践的技能と知識を身につけて社会に貢献できる者に対して学士（芸術）を授与します。

造形学部　建築学科

建築学科では、高度化する現代社会に対応できるように、建築の基本から物事を順序立てて進める能力を持ち、多様な表現を用いて計画を説明できる能力を身に付け、多数の人々と協働できる知識・技術・経験を修得することを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（芸術）を授与します。

・設計・設備・構造・施工・インテリアなどの基本的事項を理解している。
・住宅建築および住環境について理解し、住宅について必要な知識と能力が使える。
・建築の産業や仕事に関わる情報を取得して伝達することができる。

造形学部　スマートデザイン学科

スマートデザイン学科では多様化する現代社会についての知識を身につけ、情報技術を 含めたトータルなデザインを通して産業・社会・生活をより良きものとする提案ができる知識と能力を身につけることを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（芸術）を授与します。

・産業・地域・生活に存在する課題を発見し、そこに関わる人々に理解できるように説明することができる。
・産業・地域・生活に存在する課題について、情報技術を含めたトータルなデザインの知識を通して解決方法を立案することができる。
・情報技術を含めたトータルなデザインを実践するために必要な知識と技能について理解し、それを修得するために行動することができる。

●経営学部

経営学部では、複雑化する現代社会において求められるマネジメントに対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活における組織や地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献できる者に学士（経営学）を授与します。

経営学部　総合経営学科

総合経営学科では、複雑化する現代社会における、ビジネスシーンや暮らしの環境で生じる課題解決やそのために求められるマネジメントに対応できる実践的能力を身につけることを通して、産業・地域・生活における組織や地域・事象のマネジメントに貢献するビジネスパーソン、アスリート、生活者になれることを目的としています。このため、以下の点に到達している者に学士（経営学）を授与します。

・利益や損失につながる仕組みについて理解し、分析できる。
・会社組織の成功や失敗、スポーツチームの勝ち負けについて、その運営に関わる多角的観点から 理解し、活用できる。
・人気の商品やショップがどのような企業戦略のもとに生み出されてきたのかを理解し、応用できる。

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

愛知産業大学では、各学部・学科の専門知識を修得する科目を設定すると同時に、人文・社会・自然、語学、情報、キャリア等の科目を体系的に編成し、主体的に学修に取り組むことが可能な、学部学科を跨いだ実践的な共通専門科目を設定しています。

●造形学部

造形学部のカリキュラムでは、造形に関する専門知識を修得する講義だけでなく、現代社会で行われている造形に関する建築実務、情報社会におけるデザイン実務の技能を修得する実技授業を設定し、専門知識を実践で確かめて広く共有するための演習授業を設定しています。

造形学部　建築学科

建築学科のカリキュラムでは、学生の主体的な学びにより知識・技能の修得とその活用を目指し、デザインのみならず施工・営業・管理も視野に入れた実践教育を行い、社会で役立つ実学を修得できるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた3つの目標を達成するため、以下のような学修をできるように設定しています。

・住宅と住環境について学び、実践的な設計技能を身につけさせる住宅設計やインテリア設計を行います。
・建築空間への興味・関心・疑問の喚起により修学意欲の向上を図る学修をします。
・建築を学問ではなく身近なこととして感じさせる生活に密着した体感授業を行います。

造形学部　スマートデザイン学科

スマートデザイン学科では、課題発見から試作に至るデザイン手法とともに、情報科学の基礎知識や、機械学習、データ分析・評価、プログラミングといった応用技術に至るまで、さまざまな商品やサービスを創成する現場において必要とされる知識や技術を学ぶため、以下のような科目を設定しています。

・情報処理基礎、アルゴリズムとプログラミング、人工知能概論、情報デザインなどの講義、演習で、情報処理に関する知識や技術を身につけます。
・デザイン基礎、デザイン発想と評価手法、プロダクトデザイン、ビジュアルデザインなどの講義、演習で、デザイン手法に関する知識や技術を身につけます。

●経営学部

経営学部のカリキュラムでは、経営に関する専門知識を修得する講義、社会の中で実際の組織がいかに効率的に活動しているかを学ぶ実践的授業、修得した知識を現実の問題に応用する課題解決型の授業を設定しています。

共通事項　（3年次編入学者対象）

経営学部　総合経営学科

総合経営学科のカリキュラムは、世の中の身近な事例を用いながら、経営に関する専門知識を修得できる講義や企業の社長の生の声を聞く講座を開講するなど、実践的な経営スキルを身につけられるように編成されています。具体的には、ディプロマ・ポリシーで述べた３つの目標を達成するため、以下のような科目を設定しています。

・企業の損益の仕組みを理解する方法、すなわち、組織内のお金の流れを記述する簿記やそれをシステム上で処理するためのコンピュータ会計、さらには資金管理法について研究する経営財務論、企業が守るべき法律などについて学ぶ科目。

・経営管理論を基礎とし、成功するビジネスモデルの策定を目的とする経営戦略論や経営組織論、スポーツチームの運営方法について研究するスポーツ指導論やスポーツチーム経営論、組織を取り巻く社会経済の影響などについて学ぶ科目。

・マーケティング論を基礎とし、商品の具体的流通方法に関する理論や現実の市場動向の分析、さらにはヒット商品が生まれる仕組みや企画方法などについて学ぶ科目。

初年度学納金

	建築学科 スマートデザイン学科		総合経営学科	
納付金種類	前期 （入学手続時）	後期	前期 （入学手続時）	後期
入学金	200,000 円	—	200,000 円	—
授業料	400,000 円	400,000 円	320,000 円	320,000 円
教育充実費	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
実習費	50,000 円	50,000 円	25,000 円	25,000 円
計	850,000 円	650,000 円	745,000 円	545,000 円

※上記の学納金の他、学生会費（8,500 円）、校友会（同窓会）費（9,000 円）、災害傷害保険料・健康管理料（3,500 円）、防災備蓄品（20,000 円）、卒業関連費用（30,000 円）が必要です。詳細は合格発表時に郵送する入学手続書類を確認してください

合否発表

発表方法　補欠合格について

・合否結果は、ネット出願システム上（要ログイン）で合格発表日の10:00に発表します。該当入試の第1次入学手続期日まで確認できます。
・合格者には合格通知書、入学手続書類等を郵送します。不合格者および欠席者には不合格通知を郵送しません。
・合否結果の問い合わせには一切応じません。

合格者の入学手続状況により後日入学を許可する可能性がある方には補欠通知書を郵送します。入学許可の通知期間については同封の書面にてお知らせします。ただし、入学手続状況によっては入学が許可されない場合もあります。
補欠合格者のうち入学を許可される方にはあらかじめ予告した日時に電話にてご連絡のうえ、合格通知書および入学手続書類を郵送いたします。また合格者の入学手続状況によっては不合格となった方を追加合格とする場合があります。

出身学校への結果通知

・利用目的を「進路指導に活用すること」に限定し、原則受験生の出身学校へ結果を通知します。

共通事項　（3年次編入学者対象）

入学手続

入学手続

第1次手続
①入学金の納入

第2次手続
②入学金以外（前期授業料等）の学納金の納入
③誓約書（兼）身元保証書、写真などの提出

※第1次手続・第2次手続の表記がない入試は第1次・第2次同時手続です。
・合格通知同封の書類に従い、定められた期日までに入学手続を完了してください。
・指定期日までに手続が完了しない場合は、入学資格を失います。
・入学手続を完了した者には、入学手続締切後に「入学許可書」を交付します。

延納手続

・特別な事情がある場合は、第2次手続の延期を申請することができます。
入試区分および延納理由により、延期できる期日は異なりますので、まずは第2次入学手続期日までに入試課（☎0564-48-4804）までご連絡ください。
・許可された延納期限までに手続が完了しない場合は入学資格を失います。

入学辞退時の学納金の返還

・入学手続完了者が令和9年3月23日（火）17:00までに本学に入学辞退を申し出た場合、入学金以外の学納金等を返還します。
本学所定の「入学辞退届」および「学納金返還願」を提出していただきます。

その他

身体に障がいを有する者の出願

入学を志願する方で、身体に障がい（学校教育施行令第22条の3に定める身体生障がいの程度）があり受験上および修学上の特別な配慮を希望される場合は各入試の出願期間開始日までに入試課（0564-48-4804）へご相談ください。